

留学生報告

オンライン留学を終えて

1年1組
小笠原 ゆかり
(安祥中学校出身)

私はオンライン留学に参加して、ヨーロッパやアフリカ、アジア圏の国の先生と交流することができました。オンライン留学では、マンツーマンでレッスンができるため、自分の英語力や興味関心に合った授業を組み立ててくれました。教材は「旅行で使える英会話表現」を学んだり、「ニュース記事」を一緒に読んだり、「発音」の仕方を基礎から学んだり、自分の学習したい内容で進めることができました。私は、さまざまなトピックについて話し合う「ディスカッション形式」の授業を中心に受講しました。英語力が上達した!という実感はもちろん、物事をさまざまな角度から考える力や発想力が身につく、英検準1級に合格することができました。現在は、英検1級を来年受験する予定なので、それに向けて勉強に励んでいます。



生徒会活動報告



後期生徒会方針は「START」です。「新しいことを始める (START) 後期にしたい」「みんなが星 (STAR) のように輝き、ひとりひとりにも学校全体にも社会にもプラス (+) になる取り組みを」という思いで、さまざまな取り組みを行っています。6つの常任委員会の活動や、創作ミュージカル実行委員会の支援、4月に予定されている新入生歓迎会の運営、他校との活動交流などを通して、生徒ひとりひとりが主人公になれる学校づくりをめざしています。

後期生徒会 メンバー紹介

会長 2年 渡邊 陽斗 東山中学校出身
副会長 2年 大見 天祐 安祥中学校出身
書記 1年 兼松 朱音 安城西中学校出身
書記 1年 加藤 由紀恵 安城西中学校出身

会計 2年 佐野 潤 篠目中学校出身
会計 2年 神谷 歩音 桜井中学校出身
渉外 2年 石原 侑京 高浜南中学校出身
渉外 2年 竹崎 愛音 大府中学校出身

英検準1級合格

2021年11月、英検準1級に6名合格しました

代表 3年4組
山口 華佳
(末野原中学校出身)

私は高校2年生の第3回目に初めて準1級を受験しました。結果としては合格は出来ませんでした。そこからはリスニング力と単語力を重点的に鍛えるようにしました。私は長期的な海外経験がなかったため、オンライン英会話や海外の映画などを使って学習をしてきました。高校在学中の合格に向けて、「新しい単語を1日15個覚える」、「毎日英作文を書く」など継続する力を身に付けました。将来の夢に向けて、合格した立命館大学入学後も英語はもちろん自分の興味を磨いていきたいです。



1年1組 小笠原 ゆかり
(安祥中学校出身)



1年1組 ベルドス アデア
(知立中学校出身)



2年1組 佐野 潤
(篠目中学校出身)



2年1組 ナカノ ミカエラ
(知立中学校出身)



2年6組 伊藤 櫻子
(碧南東中学校出身)



3年4組 山口 華佳
(末野原中学校出身)

特集

2年連続 都大路へ! 陸上競技部

卒業生へのメッセージ
響きあうまちと学校

全国高等学校駅伝競走大会愛知県予選大会



表紙の写真
陸上競技部 2年連続で都大路へ
全国駅伝の愛知県予選を優勝し、2年連続で「都大路」への出場権を獲得しました。12月に京都府で開催された全国駅伝では、昨年の13位から11位へとステップアップ。安城市でもパブリックビューイングが行われるなど、地域ぐるみの応援が印象的でした。

Contents

1	巻頭言
2	卒業生へのメッセージ
3-4	響き合うまちと学校
5	生徒会活動報告
6-8	学校行事
9-14	部活動Report ・特集「陸上競技部」
15	TOPICS

principal speech

人と寄り添うことの大切さ

世の中はおおきな編み物とってください。

編み物は一目一目編んでいきます。

編み物の目が。右の目と左の目と、上の目と下の目と、

ずっとつながっているから次から次へとつながって、

あたたかいマフラーや素敵なテーブル掛けになるのです。

あなたはその編み物の一目なのです。

虫に食われたりしたら大変です。

上下左右たくさんの編み目に迷惑をかけてしまう。

小さくても自分がしっかりした一目でいること。

小さくてもあなたの存在は大切です。

しっかりしなさい。

瀬戸内 寂聴

昨年、11月に99歳で亡くなった作家であり僧侶（尼僧）であった瀬戸内寂聴さんの言葉です。

寂聴さんは、「大きな編み物で、人はその一目。一目は小さい存在かもしれませんが、美しい編み物を作り上げるには、一目一目が大切になる。また、一目が編み物から切り離されてしまえば、一目とはみなされません。ただの糸くずです。人が編み物の一目であるには、隣の一目としっかり手をつなぐことが大事なのです」と言っています。

新型コロナウイルス感染症によって、私たちが求められてきたのは、「三密」の回避であり、対人距離を十分にとることでした。様々な関係が分断されている今だからこそ、人と人とのつながりを大切にしなければならないと感じるのは、私だけでしょうか。

この二年間、私たちは「密」になることを避けてきましたし、まだ当分は避けざるを得ないでしょう。命を守るには、なにより万全な感染対策が必要です。ただ、それでも皆さんに忘れないでいて欲しいのは、寂聴さんの言葉からわかるように、人が寄り添うことの大切さであり、その場でこそ成り立つ豊かさがあるということです。それは決して「不要不急」のものではなく、私たちに生きる力や勇気を与えてくれる大切なものであることを・・・

安城学園高等学校
学校長 関 神一



卒業生へのメッセージ

失敗してもいい。
すべての経験があなたの財産になる。

3年学年主任 竹下 明宏



3年生のみなさん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

2019年4月6日（土）入学式当日、天候も晴れ、気温も21度前後と非常に過ごしやすい1日でしたね。桜も満開のころ初めての学年主任という立場でみなさんと同じように期待と緊張の中、保護者の皆様とともに笑顔で会話をしながら登校するみなさんを出迎えたことを思い出します。みなさんは安城学園高等学校で過ごした3年間をどのように感じられていますか。

新しい環境の中、部活動や勉強、自主活動等で「頑張るぞ」という気持ちで入学し、いろんなことにチャレンジしてくれた3年間だったのではないのでしょうか。

しかし、全てがうまくいくはずもなく、失敗したり、時には挫けそうになったりと、山あり、谷ありの高校生活だったかもしれません。それでも一步一步確実に、時には足を踏ん張りながら前へと進み成長してくれたと信じています。その進んできた道のりの中にも影で支えてくれ励ましてくれた、たくさんの人たちに感謝の気持ちを忘れないようにしてほしいと思います。そして今度は感謝するばかりではなく、感謝される人へとさらに成長してくれることを願っています。

順調に進んでいた学校生活も2019年12月初旬に中国の武漢市で第1例目の感染者が報告されてからわずか数ヶ月ほどの間にパンデミックが発生し、新型コロナウィルス（COVID-19）という未知の新興感染症で楽しく過ごしてきた学校生活が一変しました。1年の合唱コンクールの中止から始まり、2年連続体育祭の中止、高校生生活で最も楽しみにしていた修学旅行までもが中止になってしまいました。行事だけではなく、「友達との会話」「頑張っていた勉強」「全国大会を目標に頑張っていた部活動」など

が学校閉鎖とともに、奪われてしまいました。先の見えないこのような状況であっても、なんとか高校生活の思い出をと、考え企画したナガシマスパーランドへの遠足。正直不安でいっぱいでしたが、帰ってきてからのみんなの表情や「行けて良かった」「楽しかった」との声を聞き本当に企画して良かったという気持ちで嬉しく思いました。そして現在第6波と、なかなか抜け切らない長いトンネルの中、みなさんは状況の変化に対応し、我慢しながらも文句の一つも言わず、マスク越しではありますが笑顔あふれる友達と過ごす光景に楽しむべを学び、たくましく成長してきました。そして、そのようなみんなに教員一同、元気をもらっていました。

アメリカでは、卒業式のことを「コメンズメント」と言うそうです。「始まり」という意味だそうです。高校の卒業は、終わりではなく、これからの人生の始まりです。卒業生の皆さんが、安城学園高校で学び培ったものをこれから活かし、力強い人生を送ってくれることを心からお祈りしています。

これから年を重ねるごとに偉くなるのではなく責任が増えていきます。これからも人生を考えると山あり谷ありで苦勞すること、どうすれば正解か選択に悩むこと、必ずあると思います。「失敗してもいい。」失敗しながら学び、それを糧にしながら前に前にと進んでください。無駄なこと何一つありません。必ずそれらの経験はあなたの財産になるはずです。

3年間頑張って、卒業したということは人生の中で一つ勲章を与えられたことに匹敵するくらいの頑張りだったと思います。

これからも「自分らしく」頑張ってください。

響き合う まちと学校

吹奏楽部 クリスマスコンサート 2021年12月18日 ラグナシア (ラグーナテンボス)



お客様と一緒に音楽を楽しむ

3年9組
福田 兼也
(朝日中学校出身)

昨年と同様、多くの方が演奏会を聞いて下さりました。今年はお客様にダンスという形で演奏に参加していただき一緒に音楽を楽しむことが出来ました。

長引くコロナ禍の中、私たちの音楽が少しでも皆様を元気づけられるよう部員一同頑張っていきたいと思います。今後とも安城学園吹奏楽の応援よろしくお願いします。

合唱部 第17回定期演奏会

2021年12月24日
岡崎市シビックセンター

困難を乗り越え、部全体が成長

2年12組
神谷 優佳
(朝日中学校出身)

今年は、外国のクリスマスソングをイメージして舞台を作りました。歌の途中で観客の皆さんが手拍子をして歌に参加していただけたことが、とても印象的です。練習では、学年で気持ちの差が生まれ練習が困難になった時もありました。顧問の先生とたくさん話し合い、時には涙を流しながら、この期間には部全体で大きく成長することができました。先生方、家族、そして仲間のみんなが居てくれたおかげです。ここで学んだ感謝の気持ちを忘れず、これからも愛される部活になるために成長していきます。



弦楽部 第27回定期演奏会

2022年1月16日
岡崎市民会館あおいホール

1年の集大成となる演奏会に、心を込めて

3年2組
大須賀 唯
(幸田南部中学校出身)

例年より1ヶ月ほど早い開催となり、練習時間が少ない中でしたが部員一丸となって練習をし、弦楽器の温かい音色をホールに響かせることができました。聴きなじみのあるクラシック曲やホルベルク組曲を中心とした、聴いてくださる方々に楽しんでいただける曲目を選び、心を込めて演奏しました。1年の集大成となる演奏会にたくさんの方にお越しいただいたことをとても嬉しく思います。3年生はこの日を持って引退となりましたが、引き続き弦楽部の応援をお願いします。



東日本から学ぶプロジェクト 東北ボランティア活動

男子サッカー一部 11回目の東北ボランティア活動

昨年のリモート交流から、今年は実際に現地へ

2年9組
後藤 悠
(篠目中学校出身)

去年、自分達で東日本大震災について調べ学習を行い、リモートで宮城県南三陸町と繋いでもらって、宮城県海岸線沿いの地域の「今」を学びました。この学習で、津波の事は理解出来ましたが、しかし、いまいち実感がもてずにいました。

今年、実際に宮城県気仙沼市や南三陸町に行かせて頂き、多くの人の話を聞くことが出来ました。復興されている場所、未だ復興に到っていないと感じる場所等、見に行かないとわからないことがたくさんあり、津波の怖さを改めて感じる事が出来ました。

特に印象に残っている事は、「大川小学校」です。実際に娘さんを亡くしたボランティアガイドさんにお話を頂きました。僕が学んだ事は、「地震が来て、津波の危険がある時は、とにかく高いところに行く。素早い判断で自分の身は自分で守る」と言う事です。

ボランティアの方は、助かることの出来た命を落としてしまった経験をもとに、二度と同じことがないように僕たちに伝えて下さいました。この思いを受け止めて今後の生活につなげていきたいと思いました。このような機会を与えて下さって、ありがとうございました。



生徒会 東北の地訪問で4日間活動



まだ復興していない現実がある

2年3組
鈴木 佑依
(西浦中学校出身)

この4日間は私にとって本当に貴重な4日間でした。いろいろなところを見て、いろいろな人とお話ができ、絶対にこれから忘れてはいけぬ大事な思い出となりました。何よりも、関わった全ての人の心が温かく、団結力のある方々でした。悲しく辛いことばかりを考えるのではなく前向きに考えて地域のみんなで助け合いながら今を過ごしていました。

被災した方達は、被災前は私たちと同じ生活をしていたのに、当たり前の日々が一変し、今も苦しんでいる人がたくさんいます。10年たった今でもまだ復興していないということ、苦しんでいる人はまだまだたくさんいるし、解決していかないといけない課題があることを、身をもって体験し、知ることができました。この東北訪問で学んだことを忘れず伝え続けていけるように頑張りたいです。

「つながりとご縁に感謝」生徒会東北訪問

生徒会主任 山盛 洋介

12月24日(金)～27日(月)、東北の地を生徒5名・教員2名で訪れました。コロナ禍の中で、震災のことは学んでも、実際に足を運ぶことができませんでした。感染状況をにらみながら、東北各地のみなさんのご協力も得て、2年半ぶりに訪問を実現することができました。「東日本から学ぶプロジェクト」の取り組みとして、継続的に交流を深めてきた岩手県大船渡東高校のみなさんや、「ひまわり里親プロジェクト」を通してつながった福島県みなさんをはじめ、たくさんの方々と再会や新たな出会いに満ち、大いに触発された4日間となりました。

「あの日」から10年あまり。東北に生きる皆さんが、至るところで“一人称”で語って下さった「10年」と「これから」に触れ、生徒たちは「ジブンゴト」として自身に引きつけて考えるきっかけになったのではないかと思います。

生徒会活動報告

福島ひまわり里親プロジェクト

どんなに離れていても――

1年12組 加藤 由紀恵（安城西中学校出身）

「遠く離れていても、福島のことを思い、行動する」――「福島ひまわり里親プロジェクト」に安城学園が関わり始めてから2022年で5年目を迎えます。2021年度は、1年生全員、2・3年生の182人にひまわりの種を配布したり、安城市内の公共施設（丈山苑・安城市歴史博物館・安城西中学校・テニスパーク）をはじめ、たくさんの方々がプロジェクトに参加してくださったりと、取り組みが広がりました。テニスパークでは種を育てていただき、育った苗を学校に持ち帰り、無事に開花しました。外部の方や生徒・先生からも種を回収し、今年はボトル13個分にもなりました。

この他にも、安城市役所と協力し、ひまわりの種からオイルをとり、製品化につなげるなどの取り組みを今後行っていくことも決まっています。

このプロジェクトに関わることで、私は、「どんなに離れていてもできることはある」「他人事ではなく自分事として考える」ということを感じ、これからももっとたくさんの人たちに伝えられるよう、頑張っていきます。



「ひまわり防災検定」

福島から講師をお招きし、
災害時の準備について考える

2年1組 渡邊 陽斗（東山中学校出身）



「福島ひまわり里親プロジェクト」とのつながりの一環として、12月13日・14日の2日間、「ひまわり防災検定」の実証実験に生徒会役員・代議員特別常任委員・1年生（6組・8組・11組）が参加しました。この検定は、福島から震災の記憶をつなぎ、風化させない取り組みとして、NPO法人「チームふくしま」が行っているもので、チームふくしま事務局・清野翼氏をお招きし、東日本大震災発生当時の現地の状況についてお話しくだくとともに、防災に関して日常から取り組んでいくことや具体的な準備をどうするかなどをグループワークで考えました。東南海地震も近々起こると言われる中、私たちも普段から準備を進めておかなければならないと実感する取り組みになりました。

総務常任委員会

生徒の意見を届けるために、
意見箱を設置

1年5組 兼松 朱音（安城西中学校出身）

総務常任委員会では、生徒の声を実現し、よりよい学校をつくることを中心に活動を行なっています。その方法として、校内に「意見箱」を1週間設置し、50件以上の意見をいただくことができました。現在、いただいた意見の中から学校全体に関わりがあり、より良くしていくため方法を考え、実現していくための活動を行なっています。今回の意見箱設置で、「自分の意見で学校をより良くすることができるんだ、もっと自分の意見を伝えていこう」と生徒ひとりひとりが前向きに声を上げていくことのできる環境を作れるように、これからも活動を続けていきたいと思っています。

学校行事

[2021.11-2022.2]

球技大会

2021.12.16・17 体育館

☆戦勝☆

3年10組 成田 彩乃（翔南中学校出身）

高校生活最後の球技大会で優勝することができ、最高の思い出になりました。開催して下さった先生方へ、本当にありがとうございます。

放課後に体育館を予約して練習したり、朝練を始めたりと、バレー経験者がほかのクラスよりも少ない中、どのクラスよりも練習しました。コートに立つ人は仲間のために全力でボールを繋ぎ、コートに立っていない人は仲間のために全力で応援しました。苦しい場面も笑顔で楽しんだ結果の優勝だと思います。10組の努力と絆が優勝へと導いてくれました。みんなありがとう！10組大好き！



大好きだ6組！！

3年6組 鳥居 翔太（安城西中学校出身）

「か、勝ったぞ！」この感情が真っ先に全身を駆け巡り嬉しさと鳥肌がボツボツとたちました。僕達6組は球技大会で優勝しました！しかし、優勝するまでの道のりは険しかったです。時には、納得いかず揉める事もありました。本番でもそのような場面が何度もあり、勝てないと思いましたが、そんな時に級長の日比野尊くんが流れを変えるプレーをし、何度も6組を窮地から救ってくれ乗り越えることが出来ました。僕たちは弱いですが、大好きな6組のみんなが応援してくれて泥臭く優勝が出来ました。本当にありがとう。大好きだ6組！



弁論大会

2021.12.15 体育館

「自分」のことを聞いていただき感謝

2年11組 柴田 優（明祥中学校出身）

私は正直、自分のことを話すことが怖かったです。あまり良い経験ではなかったのですが、それまで誰にも話してきませんでした。しかしその経験をどう乗り越え、自分がどう変わったのかを弁論を機に伝えてみよう、思い切ってスピーチしました。弁論大会の本番では、学年のみんなが私の話を真剣に聞いてくれました。終わった後には「良かったよ！」「感動したよ！」とたくさんの友人や先生方が声を掛けて下さいました。弁論大会という場で自分のことを伝えることができ嬉しく思っています。先生方の協力、仲間の応援もあり最優秀賞をいただくことができました。真剣に話を聞いて下さった方々、そして支えて下さった先生方や友人に本当に感謝しています。



針供養

2022.1.13 視聴覚教室



針供養に参加して

2年12組 大木 悠真(明祥中学校出身)

僕は中学生の頃から裁縫が苦手でした。高校2年生になり、家庭総合の時間にエプロンを作ると聞いた時は嫌だなあという気持ちと、上手く作れるかと言う不安な気持ちになっていました。しかし、実際に実習が始まってみれば、分からなくても友達や先生が教えてくれたおかげで良いエプロンができ、またクラスの人たちとも仲良くなることができました。今回の被服実習で針は、布と布だけでなく人と人もつないでくれました。僕のクラスだけでも、折れた針や曲がった針がたくさん出てしまいましたが、全員最後までエプロンを作り上げることができました。このように友達ができ、エプロンを作り上げることができたのも針という道具のおかげだと思い、感謝の気持ちを込めて針を供養しました。これからも人や物への感謝の気持ちを忘れずに生活していきたいと思っています。

第34次創作ミュージカル

第34次創作ミュージカルの取り組み

実行委員長 2年3組 神谷 美葵(矢作中学校出身)

第34次創作ミュージカル「約束～あの島からの手紙～」は、都会に住む主人公「つむぎ」が、出張で訪れた神ヶ島の人々との関わりを通して、「幸せとは何か」を考えるお話です。新型コロナウイルスの感染が拡大し、実行委員や先生方と楽しくつくれる縦7m×横13mの大きな布に舞台背景を描き込む書き割り作成作業も延期となり、お世話になった3年生の皆さんに向けた卒業フェスティバル公演も中止になってしまいました。毎日一生懸命実行委員全員で準備や練習をしてきましたが、この事実をしっかりと受け止め、今は、4月の新入生歓迎会と一般公演に向け、もう一度、全員で前を向いて活動しています。限られた時間の中ではありますが、工夫をしながら毎日頑張っています。4月の一般公演の際は、是非お越しください。お待ちしております！

■一般公演 日時:4月10日(日) 9:00開場・9:30開演
会場:安城市民会館サルビアホール



2021年度 創作活動発表会

2022.1.21 舞台発表部門:安城市民会館/校内発表部門:安城学園高等学校



幼児と体育遊戯

3年2組 緒方 天音(大塚中学校出身)

初めて絵本を作ってみて、一から内容を考えたりミラーを使ってキレイに見えるように工夫したり、とても難しかったです。ダンスを元々のダンスから幼児向けの簡単なダンスに変更する際、みんなでいろいろな案を出し合って創り上げていくことが楽しかったです。今回の発表会ではコロナ感染予防のため園児と一緒にダンスをすることは出来ませんでした。付属幼稚園と一緒に練習した時の映像を当日に流すことが出来て良かったです。この1年間ずっとみんなで練習してきたものを発表出来て本当に良かったと思います。

コーラス

3年4組 澤田 匠利(明祥中学校出身)

創作活動の授業時間だけ練習するのではなく家に帰ってからも練習して頑張りました。最初はとても不安でしたが一緒に歌ってくれる仲間がいたので最後までやりきることが出来ました。練習では上手く出来たと思っていた部分が本番は緊張して何が何だか分からなくなってしまったので、もう少しきちんと練習しておけば・・・と後悔しましたが、最後までみんなと歌うことが出来たのでとても良い思い出になりました。どんなに無理だと思ったことでも逃げずに最後まで頑張りたいと思います。コーラスで学んだ助け合いの精神でこれからも頑張ります。一年間、本当にありがとうございました。本番は今までで一番楽しかったです！

イラストレーション

商3年1組 野場 妃南乃(若園中学校出身)

進路の事で忙しくてなかなか絵を描く時間が取れず、意識していなかったけれどこの講座で定期的に描くことで家でも描く意識を持ったり、友達に教えてもらったりして昨年よりも絵が上手くなったと思います。誰の絵なのか気になっていた絵の作者を知れたり、展示していなかった作品を見ることが出来てとても楽しかったです。4月から就職するのでなかなか時間が取れなくなりますが、これからも絵をたくさん描いていきたいと思っています。



洋裁

3年3組 小河原 沙弥音(知立中学校出身)

私はドレス作りを1年間やってみて大変だったけれどとても達成感や満足感があることに気が付きました。最初はただ「ドレスきれい!かわいい!」と思っていただけでしたが、実際に自分で作ってみるとそれぞれが細かく複雑で洋裁ってこんなにも難しく大変なのだと思います。終わりが見えなくてもあきらめずに頑張ることを学んだのでこれからの生活で生かしていきたいと思っています。とても良い思い出になりました。ありがとうございました。

フューチャーセッション

3年9組 賀河原 美咲(竜北中学校出身)

今年はコロナの影響で約2か月の休校期間があり、授業数が少なくダンスを練習する時間が限られていたはずなのに、一人一人の個性があふれ出ていてとてもキラキラしていたステージだったと思います。来年は自分がステージに立ち最高のパフォーマンスをしたいと思います。先輩たちはマスクをしながら踊っていましたが、マスクの中から笑顔があふれ出ていて本当に素晴らしかったと思いました。

料理研究

3年2組 山田 実央(佐織中学校出身)

一人ではなかなか挑戦しづらい料理を友達と一緒に協力して成功させることが出来たので、これからは一人でも挑戦したいと思いました。レシピを読みながらどうしたらより短い時間で美味しい料理が作れるかを考えるようになりました。みんな初対面でしたが仲良く協力して作ることが出来たと思います。みんなで作ったカップケーキは見た目がかわいく上手に作れたと思います。今後は料理をする機会が増えてくるので時短で作れるように工夫していきたいです。

茶華

3年2組 千田 紗羽(高浜中学校出身)

今年1年間「茶華」の授業を受けて作法などの基礎的なこと以外にも、お菓子やお茶、お花の種類など、たくさんのことを学ぶことが出来ました。人前で発表することは今まで無く、いつもリラックスした状態でやっていたので発表会本番になった時の自分の実力に驚きました。茶華で学んだことはこれからきっと役に立つと思うのでこの経験を忘れずに生かしていきたいと思っています。

部活動Report

2021年11月～2022年3月

部活動Report
2021年11月～2022年3月

特集 陸上競技部



全国高等学校駅伝競走大会 2年連続の都大路で11位

3年10組
杉浦 花音
(矢作中学校出身)

2年連続でアンカーを任せていただき、プレッシャーや不安もありましたが、多くの方の応援や前走者の走りが力になり、笑顔で京都の舞台を駆け抜けることが出来ました。目標の8位入賞は達成することが出来ましたが全員が全ての力を出し切り悔いのないレースになりました。辛い時も嬉しい時も一緒に時間を過ごし、気持ちを理解してくれて支えあった仲間と、切磋琢磨した3年間で私を成長させてくれました。

3年6組
小山 愛結
(六ツ美北中学校出身)

昨年、初出場13位という結果を残してから今年こそ都大路で入賞したいと1年間練習に取り組んできました。当日、全員が最大限の走りをし、入賞圏内でレースを進めたものの結果は11位と目標には届きませんでした。ですが「安城学園らしく、私たちらしく【全員で楽しんで走る】ことができて悔いなく笑顔で走り終えることが出来ました。一生忘れられない高校生活最高の思い出をこのチームで作ることが出来て幸せです。今までたくさん応援支えていただいた皆様、本当にありがとうございました。

東海高等学校駅伝競走大会 初優勝で都大路に弾み！

3年7組
渡辺 柚那
(矢作中学校出身)

1か月後の全国大会に弾みがつけられるようにと挑んだ東海高校駅伝。愛知県以外にも多くの学校がいるという緊張感や、愛知県優勝チームということもあり、プレッシャーもありましたが、一人一人が出せる力を出し切り優勝することが出来ました。4区の私の時点ではまだ2位だったのですが「アンカーの花音には1番で襷を渡し、少しでも楽に走らせてあげたい」と必死に前を追いかけて、追い越し、引き離しました。東海高校駅伝での優勝は安城学園高校史上初の快挙なのでとても嬉しかったです。

愛知県高等学校駅伝競走大会 2年連続の全国大会出場決定

3年3組
竹田 実紗
(矢作中学校出身)

今年も全国大会を目指し挑んだ愛知県高校駅伝。2連覇というプレッシャーのかかる大事な大会でしたが、昨年と同じ全国メンバーで走るという安心感もあり、仲間を信じて楽しんで走ることが出来ました。昨年の全国大会が終わってから、再び全国大会出場目指して、1年間、仲間と切磋琢磨し練習に励んできたので、優勝することができた瞬間はとても嬉しかったです。「最高のライバルであり、最高の仲間」がいてくれたからこそ達成できた2連覇です。



安城学園陸上部 OG の実業団で活躍する小笠原さんと愛知県チームとして襷を繋ぎました

皇后盃 第40回全国都道府県対抗 女子駅伝競走大会

3年7組
磯部 早良
(矢作中学校出身)

昨年度はコロナで中止だったこの大会が2年ぶりに開催されました。2年前、1年生の時に走らせていただき、チームの入賞が途切れてしまった悔しさから「今年こそは絶対にチームで入賞する」という強い気持ちで走りました。結果はチーム7位入賞、私は区間9位で襷を繋ぐことが出来ました。日本のトップランナーの方々と走れたことは幸せでとても良い経験になりました。またこの舞台で走れるようにこれからも頑張っていきます。



第15回U18日本陸上競技大会 100m

2年5組
万前 瑞葵
(知立中学校出身)

高校初の大舞台。しかし、今年度は、肉離れを3度経験した影響があり、思うような走りができない1番辛いシーズンでした。その中で掴んだ全国への切符。嬉しい気持ちでいっぱいでしたが、試合直前まで良い走りができず焦りや悔しさもありました。試合本番は、散々タイムではありましたが、今の自分の中では納得できる走りができ、全国レベルのスピードを肌で感じられたことも良い経験になりました。現在の陸上競技部短距離は男子の部内争いが過去に類を見ないほど熾烈です。互いに切磋琢磨し来年の夏、徳島インターハイの地で活躍できるように日々の練習を大切に頑張っていきます。

2022日本室内陸上競技 大阪大会 U20の部 60mH (3月開催予定)

2年5組
神原 詠美
(乙川中学校出身)

この大会は予選を勝ち上がるとA決勝(1位～8位)・B決勝(9位～16位)があります。普段の陸上競技大会とは違い室内で開催されるため、風の影響を受けず、今の自分の状態が分かります。昨年、初めて出場し、タイムで拾われ、B決勝にギリギリ進むことができ、全国のレベルの高さを実感しました。いま冬季で、自分の走り向き合い「課題の改善」「筋力強化」などレベルアップした走り自分で自分を試していきます。「A決勝に出場し入賞する」という目標を達成し、今大会を通過点として、インターハイに向けて良いスタートを切りたいです。



東海高等学校新人大会 男子4×400mR4位入賞

1年7組
浦口 泰陽
(鶴城中学校出身)

僕は安城学園史上初男子4×400mRで東海新人出場、そして入賞を果たしました。まずは予選突破にチームが集中し、2年生の先輩3人が1位でバトンを繋ぐ快走！僕はアンカーで出場し、全員が県大会より速い走りで予選を通過しました。決勝レース前、先輩達と「今までにない最高の走りをして楽しもう」と交わし緊張はありませんでした。この大会は高校で初めて声を出しての応援が許され安城学園の仲間大声援も頼もしかったです。決勝レースでも快進撃は続き、なんと安城学園がトップでバトンパス！会場がどよめき、先輩達の熱い走りにアンカーで待つ僕の心は燃えました。混戦状態の4位でバトンを受け、各校のエースに抜かれるも食らいつきデッドヒート。ゴール直前でライバルをかわし4位でゴールに駆け込みました。努力は必ず報われると思ったとても嬉しいレース経験になりました。



女子バスケットボール部

ウィンターカップ2021
第74回全国高等学校バスケットボール選手権大会出場



女子バスケットボール部YouTubeチャンネル▶



3年5組
伊藤 虹歩
(陽南(栃木) 中学校出身)

昨年の2点差で負けたという悔しい思いから、今年1年間『その2点、その1秒を削り出せ』のスローガンの下、日本一になるために全員で練習を重ねてきました。結果はベスト8と、目標を達成することは出来ず、また悔しい思いで終わってしまいましたが、コート内外関係なく全員バスケットで戦い、楽しんで試合をすることが出来たので、人生の中で最高の思い出となりました。沢山の応援、本当にありがとうございました。今大会の悔しさをバネにして、「日本一」という目標を掲げて新チームがスタートしています。今後、引退した3年生はこの安城学園で3年間学んだことを次のそれぞれのステージで生かし、1・2年生は今年こそ日本一になれるように練習に励んで行くので、引き続き女子バスケットボール部の応援をよろしくお願い致します。

卓球部

第49回全国高等学校選抜卓球大会東海選考会兼
令和3年度東海高等学校新人卓球大会



2年9組
福井 美葉
(若園中学校出身)

わたしたち卓球部は10月から行われた新人戦予選を西三河大会準優勝、県大会5位という成績で勝ち抜き、12月23日から25日に三島市民体育館で行われた東海大会に出場することが出来ました。結果は、5チームで行う予選リーグで3位という成績で、決勝トーナメントに進むことは出来ませんでした。しかしこのコロナ禍の中で試合が出来る喜びと、感謝の気持ちを忘れずに、「楽しくて強いチーム」をモットーに、来年度のインターハイに向けて日々練習に取り組みたいと思います。

男子バスケットボール部

『全国への挑戦』
ウィンターカップ2021予選大会愛知県ベスト4



3年7組
下村 悠斗
(葵中学校出身)

もう一度全国大会の舞台に立ち、インターハイの悔しさを晴らすために努力してきました。技術がない下手な代だと言われて始まったチームでしたが、チーム力だけはこの高校にも負けたくないと思っています。自分達の武器であるチーム力でウィンターカップ予選でベスト4まで行くことができました。コロナ禍で苦しい時も助けあった3年生、いつも支えてチームのために行動してくれた1・2年生。この最高の仲間と共にバスケットボールができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。これから安城学園で戦う後輩が、自分たちが受け継いできた伝統と誇りを引き継ぎ、全国という高い壁を乗り越えてほしいと思います。

野球部

『快進撃の序章』
秋季西三河高校野球大会準優勝



野球部顧問 増永和大

ターニングポイントは地区予選で2敗したここだ。そこで自分たちの弱さを知り、ほんやり描いていた予想に手が届かないことに直面した瞬間であった。秋季西三河2次トーナメントに進出できたのは他力(接っていた学校が負けたため)であった。しかし、そこから快進撃が始まる。2次トーナメントの鬼気迫る戦いぶりで接戦を3連勝し、決勝戦に進んだ。その勢いのまま県大会でもベスト16、全三河大会3位と3点以内の8試合のうち7試合勝利した。勝因はディフェンス力と結束力である。相手投手を分析した上で失点を計算し後半勝負に持ち込み、耐えて耐えて勝つことができた。また、エースの長谷川がチームの快進撃を加速させた。誰よりも勝ちにこだわり向かっていく姿勢があった。冬場でさらに力を蓄え、結束力を強化し春の大会に向かいたい。西三河、県大会を勝ち抜き快進撃第2章に期待ください。

アーチェリー部

東海インドア・アーチェリー大会を終えて

2年3組
高木 梨緒
(竜神中学校出身)

11月に静岡県で開催された東海インドア・アーチェリー大会に男女計8名が出場し、女子1名が入賞することができました。今回の大会は室内で18mの競技という慣れない環境の中でしたが、全員が60射を撃ちきることが出来ました。新型コロナウイルスなどの影響で、限られた時間での練習でした。それでも、先生たちを含めチーム全体で協力し、一生懸命練習をしてきました。悔しい思いをした人もいましたが、やりきることができとても良い経験となりました。次は引退をかけた春のインターハイ予選となります。より良い結果を出して、少しでも上の大会に出場できるようにチーム一丸となって頑張ります。これからも応援よろしくお願いします。



女子サッカー部

努力と工夫の継続で、次年度の躍進へ



女子サッカー部顧問 中野 篤

16期生4名が引退し、新チーム体制で奮闘する毎日を送っています。今シーズンは県4強を逃しましたが卒業する3年生を含め、その成長ぶりは目を見張るものがありました。県総体準決勝で完敗した同朋には皇后杯で見事な勝利。夏の大会準々決勝で敗北を喫した至学館には県高校リーグでリベンジを達成しました。努力と工夫の継続こそが実を結ぶと実感できた今シーズンの経験を、次年度の躍進に繋げます。

ダンス部

USA Regionals 2022愛知大会で
全国大会出場権を獲得

商2年1組
岩崎 聖奈
(明祥中学校出身)

2月に参加した「USA Regionals 2022愛知大会」で全国大会への出場権を獲得しました。昨年は映像審査でしたが、今年は会場で踊ることができ、大勢の人前で披露することができました。この大会に向けて、何度も話し合い、改善を続け、たくさん練習をしてきました。本番では、今まで努力してきた成果をすべて出し切り、全力で楽しんで踊ることができました。みんなで、目標にしていた全国大会出場を叶えることができ、とても嬉しいです。次は全国大会入賞を目指し、予選よりもパワーアップした演技ができるよう、仲間と気持ちを高め合い、頑張っていきます。これからもダンス部の応援をお願いします。



学び探究部

高校生マイプロジェクトアワード2021
中部サミット出場



学び探究部顧問 北林 晃

6名の部員が予選を勝ち抜き、2月5日に行われた中部サミットに出場しました。動画審査をもって全国大会の出場が決まります。他にも、地域の企業と協働でアプリの地域活性のための開発に取り組んだり、商店街のお店でボランティア活動に参加したり、色々と活動の幅を広げています。

吹奏楽部

全日本マーチングコンテストで銀賞受賞!

3年2組
千田 紗羽
(高浜中学校出身)

私たちは、11月21日に大阪城ホールで行われた全日本マーチングコンテストで銀賞を受賞しました。例年より人数が少なく、不安が多ありましたが、仲間や先生、家族の支えのおかげで乗り越えることができました。私たちの演奏演技で感謝の気持ちや、感動をお届けできるよう頑張りますので、今後とも安城学園高等学校吹奏楽部をよろしくお願いします。



弦楽部

第10回日本学校合奏コンクールで金賞等を受賞



3年3組
梅原 みなみ
(前林中学校出身)

私たちは11月6日に行われた第10回日本学校合奏コンクールグランドコンテストと11月14日に行われたアンサンブル部門に出場し、グランドコンテストでは銀賞、アンサンブル部門では弦楽五重奏銅賞、弦楽三重奏銅賞、20人弦楽アンサンブル金賞及び白河市長賞を受賞し、全国大会2位に入賞することができました。またソロ部門では3年齋藤麻生さんが銅賞を受賞しました。このような結果を残すことができたのは熱心に指導してくださった先生、応援してくれた家族、友人のおかげです。これからも感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思います。

合唱部

第28回愛知県ヴォーカルコンクールで金賞・奨励賞を受賞



2年4組
長澤 桃花
(青翔(北海道)中学校出身)

私たちは1月15日に行われた第28回愛知県ヴォーカルアンサンブルコンテスト高等学校部門に2チーム出場し、金賞、奨励賞を受賞しました。練習ではコロナ対策を徹底しながら、曲についてチーム内で考察したり、どのように表現するべきか、どのように歌いたい意見交換を積極的に行い、理解を深めました。本番では今まで練習してきた成果を発揮し、気持ちを込めて歌うことができました。このような結果を残すことができたのは先生方や応援してくれた家族、友人のおかげです。これからも「私たちがらしさ」を大事に、大切な曲を届けていきたいと思っていますので、応援よろしくお願いします。

箏曲部

日本音楽部門 第36回発表会(県大会)奨励賞 第4回定期演奏会を開催し箏曲の魅力を発信



1年2組
治花音
(前林中学校出身)

私たち箏曲部は、1月8日の県大会で『さらし風手事』を演奏しました。古典的な主題をモチーフに宮城道雄が作曲した超絶技巧の曲で大変苦労しましたが、今年度はホールで演奏することができ、とても良い経験になりました。2月5日の定期演奏会では、3年生と一緒に演奏できる最後の舞台に、先輩への感謝の気持ちを込め、また聴いてくださる方の心に残る演奏と全員で『和音』を奏することができました。

クラブ大会試合結果一覧

◇陸上競技部

【10月 静岡県】東海高等学校新人大会
2年 小松このみ(大府) 100m2位・200m1位 榊原詠美(乙川) 100m・100mH3位 石川凜(平坂) 走幅跳4位・三段跳3位 村松優(平坂) 走高跳3位・三段跳山下美智乃(長良) 3000m5位 阿部慧吾(上郷) ハンマー投7位・円盤投生田幸長(矢作) 100m・走幅跳
1年 山田真央(御幸山) 砲丸投2位 酒井菜胡(雁が音) 走幅跳・三段跳坂田朋花(平坂) 3000m
女子4×100mR3位
2年濱島月香(栄)・2年小松このみ(大府)・2年榊原詠美(乙川)・1年青山和奏(古知野)
女子4×400mR4位
2年宮原和香奈(雁が音)・2年榊原詠美(乙川)・2年小松このみ(大府)・2年濱島月香(栄)
男子4×100mR
1年戸田源大(東浦北部)・2年鳥居大隼(六ツ美)・2年福井篤輝(古知野)・2年田幸長(矢作)
男子4×400mR4位
2年万前瑞葵(知立)・2年鳥居大隼(六ツ美)・2年福井篤輝(古知野)・1年浦口泰陽(鶴城)

【10月 愛媛県】第15回U18日本陸上競技大会
3年 中根葵(矢作) 300m
2年 小松このみ(大府) 100m5位 榊原詠美(乙川) 100mH
石川凜(平坂) 三段跳 万前瑞葵(知立) 100m
1年 山田真央(御幸山) 砲丸投

【11月 三重県】東海高等学校駅伝 初優勝
3年 磯部早良(矢作) 小山愛結(六ツ美北) 竹田実紗(矢作)
渡辺柚那(矢作) 杉浦花音(矢作)

【12月 京都府】女子第33回全国高等学校駅伝競走大会11位
3年 磯部早良(矢作) 小山愛結(六ツ美北) 竹田実紗(矢作)
渡辺柚那(矢作) 杉浦花音(矢作)

【1月 京都府】皇后盃 第40回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会
愛知県チーム 7位入賞 3年磯部早良(矢作)

【3月 大阪府】
第105回日本陸上競技選手権大会・室内競技
2年 小松このみ(大府) 日本選手権の部 60m
2022日本室内陸上競技大阪大会
2年 榊原詠美(乙川) U20の部 60mH

◇野球部

令和3年度秋季西三河高校野球大会 準優勝
第74回愛知県高等学校野球選手権大会 ベスト16
第145回全三河高校野球大会 3位

◇女子硬式テニス部

令和3年度 西三河テニス選手権大会(団体の部)
個人ダブルス 榊原詩絵(2年・碧南南)・渡邊美空(2年・刈谷南)ペア 本戦出場

◇男子バスケットボール部

令和3年度愛知県高等学校新人体育大会西三河予選 準優勝(1月)
U18 ALL AICHI CHAMPIONSHIP 2021 ベスト4(11月)

◇女子バスケットボール部

第75回愛知県高等学校総合体育大会バスケットボール競技愛知県大会 準優勝
令和3年度全国高等学校バスケットボール選手権大会愛知県大会
(U18 All Aichi Championship 2021)準優勝
令和3年度全国高等学校バスケットボール選手権大会(Winter Cup 2021)ベスト8

◇バレーボール部

第74回全日本バレーボール高等学校選手権大会西三河支部予選会 優勝
第74回全日本バレーボール高等学校選手権大会愛知県予選会 ベスト16
令和3年度西三河高等学校バレーボール選手権大会 第3位
令和3年度愛知県高等学校新人体育大会バレーボール競技西三河支部予選会 第4位
令和3年度愛知県高等学校新人体育大会バレーボール競技 出場(大会中止)
令和3年度第27回東海私立高等学校男女バレーボール選手権大会 出場(大会中止)

◇バドミントン部

【第74回中部日本バドミントン選手権大会】
三重県四日市市総合体育館(R3.12.11～12)
女子ダブルス 2回戦・押切涼乃(2年・大府西)・山脇杏梨(1年・金屋)
女子シングルス 2回戦・押切涼乃(2年・大府西) ベスト16・山脇杏梨(1年・金屋)

◇女子ハンドボール部

令和3年度愛知県高等学校新人体育大会 西三河支部予選会5位(県大会出場決定)
令和3年度愛知県高等学校新人体育大会 出場
第47回碧海高校学生ハンドボール選手権大会 出場

◇男子サッカー部

令和3年度愛知県高等学校新人体育大会西三河支部予選
安城学園0(延長)1豊田北 敗退
令和3年度U-20チャレンジ杯 優勝
令和3年度愛知県高等学校新人体育大会西三河支部予選
1回戦・安城学園2-1豊田 2回戦・安城学園1(延長)3豊田北 敗退

◇女子サッカー部

全日本高校女子サッカー選手権愛知県大会(10.1～10.24) ベスト8
愛知県高校女子サッカーリーグ1部(4月～12月) 2勝3敗1分 第5位
リーグ優秀選手選出・鈴木菜奈(2年・新川)
東海LIGA STUDENT ファイナル(12.11) 1勝1敗
令和3年度新人体育大会愛知県大会(大会中止)

◇アーチェリー部

第13回東海高等学校インドア・アーチェリー大会 兼
winter cup2022第14回高等学校ネットワーク・アーチェリーインドア大会
出場・入賞者
2年 園田梨佐(安城西)【6位入賞】 加藤沙彩(城北) 高木梨緒(竜神)
谷 碧巴(西尾) 野上翔生(篠目) 本間 遥(福岡) 増田祥太(篠目) 渡邊 華奈(知立)

◇ダンス部

マイナビHIGH SCHOOL DANCE COMPETITION 2022 WEST vol.02 出場
USA Regionals 2022 愛知大会 Hip Hop部門 第1位・第2位 全国決勝大会出場権獲得

◇箏曲部

日本音楽部門第36回発表会(県大会)～箏曲・能楽～ 「さらし風手事」演奏、奨励賞受賞
第4回定期演奏会開催(アンフォーレ・ホール)
丈山苑での演奏会

◇弦楽部

【11月 千葉県】第10回日本学校合奏コンクール2021全国大会グランドコンテスト 銀賞
3年 藤村真愛(猿投台) 梅原みなみ(前林) 齋藤麻生(田原)
大須賀 唯(幸田南部) 長谷川綾香(朝日) 水越莉菜(矢作)
2年 岡田 虹(依佐美) 浅井鏡平(雁が音) 大塚日那(西尾東部) 渡部七海(福岡)
土本彪雅(矢作) 太田愛琉(矢作) 上田真那佳(岡崎北) 田中彩絵(城北)
森 千春(藤岡南) 黒柳奈々(前林) 杉浦姫菜(城北) 伊藤唯里(朝日)
久保蓮菜(矢作) 大野愛莉(高浜) 大澤愛実(竜北)
1年 中島莉里(東山) 井上乃愛(依佐美) 稲吉倫奈(西浦) 羽田和奏(知立南)
山田柚子(西浦) 久保田紅葉(明祥) 近藤大輔(依佐美) 小笠原ゆかり(安祥)
富田優杏(篠目) 藤原希寧(有松) 濱口こころ(青陵) 藤原佳蓮(竜海)
志賀咲月(福岡) 根本桃花(羽田) 河上摩奈(福岡)

【11月 福島県】第10回日本学校合奏コンクール2021 全国大会ソロ&アンサンブルコンテスト
ソロ 銅賞
3年 齋藤麻生(田原)
アンサンブル 弦楽三重奏 銅賞
2年 太田愛琉(矢作) 杉浦姫菜(城北) 大澤愛実(竜北)
弦楽五重奏 銅賞
3年 梅原みなみ(前林) 齋藤麻生(田原) 大須賀 唯(幸田南部)
長谷川綾香(朝日) 水越 莉菜(矢作)
弦楽アンサンブル 金賞 白河市長賞(全国2位)
3年 藤村真愛(猿投台) 梅原みなみ(前林) 齋藤麻生(田原)
大須賀唯(幸田南部) 長谷川綾香(朝日) 水越莉菜(矢作)
2年 浅井鏡平(雁が音) 大塚日那(西尾東部) 渡部七海(福岡) 土本彪雅(矢作)
太田愛琉(矢作) 上田真那佳(岡崎北) 田中彩絵(城北) 森 千春(藤岡南)
杉浦姫菜(城北) 大野愛莉(高浜) 大澤愛実(竜北)
1年 羽田和奏(知立南) 近藤大輔(依佐美) 志賀咲月(福岡)

◇合唱部

第28回愛知県ヴォーカルアンサンブルコンテスト 高等学校の部 金賞

◇吹奏楽部

【11/21(日) 大阪城ホール】2021年度全日本マーチングコンテスト 銀賞
【1/10(月) 知立市文化会館】2021年度愛知県アンサンブルコンテスト西三河南地区大会
金賞・代表 フルート四重奏・打楽器八重奏・サクソフォン八重奏
金賞 クラリネット八重奏・金管八重奏A・木管四重奏・金管八重奏B
【1/29(土) 尾張旭市文化会館】2021年度愛知県アンサンブルコンテスト
金賞・県代表 打楽器八重奏・フルート四重奏
金賞 サクソフォン八重奏
【2/13(日) 幸田町立会館(録画審査)】2021年度東海アンサンブルコンテスト
打楽器八重奏・フルート四重奏

個人
第31回日本クラシック音楽コンクール全国大会(日本クラシック音楽協会主催)
【12月 東京都】 トロンボーン部門 高校の部 全国1位無しの2位(最高位)
1年 酒井 靖河(桜井)